

クラウド時代の情報セキュリティ戦略とベストプラクティス

主催：NRIセキュアテクノロジーズ 2010年7月29日

会場：コンラッド東京

NRIセキュアテクノロジーズ（以下、NRIセキュア）では、本セミナーを2002年より毎年1回、企業の情報セキュリティを担当するマネジメント層を対象に開催しており、今回で9回目を迎える。7月29日は、「クラウド時代の情報セキュリティ戦略とベストプラクティス」と題して、コンラッド東京で開催し、340人ほどの参加をいただいた。

第1部「クラウド時代の情報セキュリティ」、第2部「組織内部の脅威を低減するためのGRCマネジメント」、第3部「外部からの脅威に対抗するためのリスク緩和策」の3部構成で、クラウドコンピューティング（以下、クラウド）が広がりつつある現状で生じる新たな脅威に対応すべく、情報システム基盤と情報セキュリティのあり方についての最新動向や対策方法を紹介した。

NRIセキュアによる講演のほか、米国の情報セキュリティ専門の調査研究教育機関であるSANSインスティテュートからエリック・コール氏（フェロー）、マイク・プア氏（シニアインストラクター）という世界的に著名な2人を迎えての講演も行った。

コール氏は、クラウドセキュリティに関するSANSの見解を日本国内で初めて披露。最新の脅威・攻撃動向とそのセキュリティ対策を併せて紹介した。プア氏は、攻撃者がどのようにして攻撃の糸口を発見し情報資産を侵害するかのステップに焦点を当て、デモンストレーションを交えながら、悪質・巧妙化する攻撃に対抗するための手法を紹介した。

以下にNRIセキュアが行った講演から1つをご紹介します。

■クラウドサービス利用における情報セキュリティの優先課題とその対策（NRIセキュア 佐藤 健）

クラウド利用には、導入時の課題と運用時の課題がある。また、クラウド事業者と利用者にはそれぞれ対応すべき範囲があり、それらはSaaS、PaaS、IaaSによっても境界が変わってくることに留意しなければならない。ただし、クラウド事業者で対応すべきものも、最終的には利用者の課題になるため、利用者は対策の実施を確実に担保するため、契約やSLA（サービス水準契約）での保証を組み合わせる必要がある。加えて、利用システムの仕分けが重要で、利用期間やセキュリティレベル、ワークロードの予測可否など、システムとクラウドそれぞれの特性をマッチングさせて個別に判断しなければならない。

さらに、自社全体での利用に向けたルールの整備、クラウドサービス評価、具体的な導入判断などをもとに、利用方法を継続的に改善すべきである。

参加者からは、「クラウドを利用し始めたところなので、自社の状況と照らし合わせて今回のセミナーの内容を課題解決につなげたい」「業務のヒントになるキーワードをたくさんいただいた」「クラウドセキュリティについての情報をまとめて聞くことのできる機会がなかったのととても良かった。今後も継続して開催してほしい」との声があり、満足度の高いセミナーとなった。

.....
本セミナーについてのお問い合わせは下記へ

NRIセキュアテクノロジーズ セミナー事務局

電話：03-6274-1011

電子メール：info@nri-secure.co.jp